

令和4年度第3回鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 地域連携部会 会議録

日時： 令和5年2月14日（火） 午後2時から午後2時40分

場所： 総合福祉保健センター5階 団体活動室

出席者： 星野里香（障がい福祉課課長）、三浦健（鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会会長）、
荘司勝（障がい者の働くを支えるチーム）、渡辺博（地域資源を調査・研究しより良い方
策を提言するチーム）、向井智之（障がい分野の情報を発信・啓発するチーム）、
福田弘子（精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム）、岩田友理子（医
療的ケア児支援チーム）

欠席者： 菊地謙（鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会副会長）、
林恵利（医療的ケア児支援チーム）

事務局： 【鎌ケ谷市障がい福祉課】遠藤主幹、高橋副主幹、稲葉主任主事
【鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺、坂巻、岩室

傍聴者： 1名

- ・本日の委員の出席者数と傍聴者数の報告

本日委員の出席者7名、会議成立の定則数の過半数を超えている旨を報告。傍聴者1名。

- ・部会長挨拶

1 各テーマ別チームからの令和4年度活動報告

(1) 障がい者の働くを支えるチーム

就労系の事業所に特化した「鎌ケ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」を作成した。写真を入れる等、雰囲気や特徴が分かりやすいようにしている。次回の鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）の本会議では、このガイドブックを市のホームページに掲載可能か、また配布をしてよいかどうかの2点を確認したい。次年度はこのガイドブックの活用方法を検討する。

(2) 地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム

通所・通学の移動支援が利用できないという問題にスポットをあてて考えてきた。令和3年と平成27年のアンケート結果をふまえ、まずは通学の課題に取り組んでいく。特に高等部になるとバスに乗れない状況があるため、受け入れている事業所の現状や他市の状況も調べていく。これらを元に提言書（案）をまとめたので、本会議に提出したい。

(3) 障がい者のつながりを支えるチーム

支援者向けの「困った！どうする！？支援者向けシート」を作成した。裏面には、支援先の概要・つながりを支えるポイントをまとめた。福祉の現場経験が浅い支援者等の業務に役立て

て欲しいと思っている。次年度は、このシートを実際にどの現場でどの様に活用していくか、どこに配布していくか、配布方法等を検討していく。また、引き続き事例検討も行っていく。

(4) 障がい分野の情報を発信・啓発するチーム

12月17日（土）に「障害平等研修」を実施し、アンケートの集計結果をまとめた。内容評価は良く、運営にも大きな問題はなかった。ほかの事業所の方と交流ができて良かった、開催場所が不便だった等の意見・感想があった。今後は、障がい種別に特化した研修や研修対象を一般市民にした研修等も考えていきたい。また、チーム会議にオンライン会議を導入しメンバーの参加率を上げることができた。

(5) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム

地域でその人なりの生活が送れるようにするという共生社会の考え方から、医療機関との連携がテーマであり、フローチャート「つながるシート」を作成し可視化した。

「医療機関につながっている場合」「医療機関につながっていない場合」のシートは、鎌ケ谷市役所の障がい福祉課、高齢者支援課、健康増進課にて活用し始めたところである。新たに医療機関から地域へ戻る場合の「退院して地域へ」シートと、主に計画相談の方が作成して医療機関に提出する「情報提供書」を書式化したので提出する。次年度は、実際にこれらのシートを使ってみて内容等を調整していく。

(6) 医療的ケア児支援チーム

当初は市民向けに医療的ケア児に関するリーフレットを作成する予定だったが、個別性・特殊性が高いことから、リーフレットの作成は断念した。その後、医療的ケア児が災害時に避難した時に、支援者側がどう対応したらよいのかをまとめた簡単なマニュアルがあるとよいと考え、「鎌ケ谷市医療的ケアが必要な方のサポートマニュアル」を作成した。災害時の避難所等に配布している「コミュニケーション支援ボード」に付けて活用したい。

質疑応答

部会員

大規模停電の発生時について、避難所の非常用発電機の設置状況や自衛隊が駆けつけるまでの間の電源確保の方法等を教えてほしい。電源マップはあるか。

部会長

非常用電源や自衛隊が駆けつけるまでの時間等については、詳細は確認しないと分からない。電源マップはない。医療的ケア児について、情報はあるが避難の個別プランまではできていない。電源確保が必要な場合、介護施設にご協力いただくこともある。

事務局

非常電源等について安全対策課に確認した。市役所には非常電源がある。各避難所には今後

ソーラーパネルをつけていく等の方法で設置していく方向である。防災倉庫の発電機は炊き出しのためのものであり、医療的ケア児用ではない。

部会員

「鎌ケ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」について、ホームページのQRコードをつけられないか。人物の顔の画像掲載について問題ないか。

部会長

鎌ケ谷市のホームページのセキュリティーとも関係するので確認が必要。人物の画像等も含め掲載前には再度確認する。

部会員

地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチームの提言書（案）についてだが、具体的に協議会に何をしてもらいたいのがわからない。具体的に記載しないと、協議会も議論のしようがないのでは。

部会員（地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム）

具体的に何をしたいということではなく、要望に近い。例えば特別支援学校の実態調査アンケートの依頼や有償ボランティアの研修を協議会として行いたい。

部会長

提言書（案）については、後程、チームリーダーと検討したい。

2 次回鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会の議題について

事務局

令和5年2月28日開催予定の本会議の議題は、以下4点とする。

- ・各テーマ別チームの令和4年度活動報告
- ・次年度のテーマ別チームの活動について
- ・障がいを理由とする差別に関する相談事例について
- ・次年度スケジュールについて

→ 異議なし

3 その他

部会員

テーマ別チームメンバーの任期はあるか。

部会長

特に任期はないが、年度初めに意向確認を行う。

部会長

ほかになれば、閉会とする。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和5年6月19日

氏名 向井 智之 _____

氏名 福田 弘子 _____